

令和元年度 第1回伊勢市スポーツ推進審議会 会議録（概要）

1 日 時 令和元年6月21日（金）19：00～20：30

2 場 所 小俣公民館1階 第1会議室

3 出席者 委 員

北村 峯記（伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会）

龍田 洋（伊勢市体育協会）

中西 武寿（伊勢市スポーツ少年団）

奥田 守（伊勢市レクリエーション協会）

小嶋 幸博（伊勢市小学校体育部会）

田村 善保（総合型地域スポーツクラブ）

平沼 美智子（健康づくり・スポーツ女性指導者）

立花 和子（健康づくり・スポーツ女性指導者）

豊島 久雄（学識経験者）

小木曾 一之（学識経験者）

事務局（伊勢市教育委員会事務局スポーツ課）

沖塚 孝久（スポーツ課長）

日置 純子（スポーツ課課長補佐）

八田 信（スポーツ課スポーツ施設係長）

4 概 要

（1）あいさつ（伊勢市教育委員会事務局スポーツ課長 沖塚 孝久）

（2）委嘱状の交付

（3）正副会長選出

会 長 小木曾 一之 様

副会長 龍田 洋 様

（4）協議事項

- ・第2期伊勢市スポーツ推進計画の平成30年度取組結果と令和元年度実施計画について

（事務局説明）

（質疑応答）

1 市民スポーツ活動の充実について

・全日本社会人野球 J A B A大会の参加者数（2,082名）は、観覧者を含めた人数か？

事務局⇒観覧者を含みます。

・市民ふれあいスポカルウォークにおいて、今年度第2回目の開催時に託児を準備し、子育て世代の方が参加できるよう試みたが、託児依頼はなかった。

・子育て世代は、母親が楽しいなと思うことを計画しなるとなかなか集まりにくい。本当に来てほしいと思う人には、なかなか来てもらえない。

・育児等で忙しいと、そこまで余裕が持てないのではないか。

・託児を準備してもらっていても、ウォーキングに出かけてしまうと、子どもが母親の見える範囲にいないので、心配なのではないか。

・若い母親が魅力を感じる仕掛け（スイーツウォーク、有名人が来る等）をしないといけない。

・まず、家から出てもらうことを考える。参加してもらうことに意義がある。

・気を遣わず参加しやすいよう、親子だけの回を設けてはどうか。

・大きなイベントで集まらないのであれば、小さなイベントを実施してはどうか。

事務局⇒ホームページ、広報いせに掲載したほか、子育て支援センター等にちらしを配布し、周知を図ったが問合せはなかった。

今年度中に内容を検討し、もう一度託児を利用したウォーキングを開催したいと考えている。

・東京オリンピックが終わると、スポーツへの関心が下がると思われる。盛り上がった雰囲気がしぼんでしまわないように、来年、再来年に何か考えていく必要がある。

・伊勢市では、スポーツ選手の試合観戦する機会が少ない。有名選手に来てもらうのもよい。伊勢フットボールヴィレッジや県営総合競技場は、利用できるいい施設である。

・他県では、有名スポーツ選手と地元アナウンサーでイベントとして実施しているところもある。

事務局⇒観光振興課で行っている集大会補助金を体育協会へ紹介し、多くの方に利用していければと考えている。

・市が主催するスポーツ大会等への参加人数の目標値が 10,000 人に対して現状値が 5,000 人程度であるが、目標をクリアできるような策はあるのか。

事務局⇒これまでと同じ事業だけでは、大幅な増は望めないので、今年度から総合型地域スポーツクラブとの交流会事業を新規事業として考えている。

2 関係団体の強化と連携強化

事務局⇒昨年度にボッチャの公式セットを3セット購入したので、これを利用して今年の10月にボッチャ交流大会を開催予定である。また、貸出しも行なっており、すでにいくつかの団体には利用してもらっている。

(ボッチャ用具を見もらった)